

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は2022年度日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。
また、日本陸上競技連盟の陸上競技活動再開のガイダンス「【第3版】競技会開催について(2021年1月15日)」、長野県高体連「新型コロナウイルス感染症に係るガイドライン(2021年7月15日改訂版)」に基づいて実施する。

2. 招集について

- (1) 招集場所は100mスタート地点奥に設ける。必ず競技用靴の検査を受けること。
- (2) 各種目の招集時刻は競技開始時刻を基準として下記の通りにする

種目	トラック競技	フィールド競技
招集開始時刻	20分前	35分前
招集完了時刻	15分前	30分前

- (3) 点呼に遅れたものは棄権とみなし出場は許可しない。
- (4) 他種目と兼ねて出場する場合は、その旨を競技者係及び審判員に申し出て競技進行に支障ないようにする。
- (5) 招集所から出発地点に行く場合は競技者係の指示によって規律ある行動をとること。
- (6) リレーのオーダー用紙は招集完了時間60分前までに競技者係に1部提出すること。
- (7) 混成競技については、両日の第1種目は一般の種目と同様に招集所で最終点呼をうける。
第2種目目以降は、トラック競技が開始15分前に、フィールド競技が開始20分前に現地へ集合すること。
また、最終種目は競技者係で腰ナンバー標識を受け取ること。

3. アスリート・ビブスについて

- (1) アスリート・ビブスはそのままの大きさと胸と背部に確実に固定すること。(跳躍競技については胸又は背部どちらかでよい。)
- (2) 800m以上の競技者と4×400mRのアンカーは、腰レーンナンバー標識をパンツ右側の上部、やや後ろにつけること。3000m以上の競技者は胸と背部にレーンナンバー標識をつけること。(出場者は各自で用意する)
- (3) 腰レーンナンバー標識は競技者係で配布する。

4. 競技について

(1) トラック競技

- ① レーン順はプログラム記載通りとする。
- ② 短距離走では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走る。また、ゴール後の移動は競技場内を認めるが、競技の妨げとならないようスタンドに近いところを通ること。
- ③ 予選のあるトラック競技の次のラウンドの組合せ及びレーン順は、掲示板に発表する。

(2) フィールド競技

- ① フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと
- ② 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、優勝が決まって最後の1人となるまでは以下の通りとする。ただし、天候等の状況により練習の高さを含め、変更する場合がある。

【男子】 練習

走高跳	1.35	1.40	1.45	1.50	...	1.75	以降3cm
棒高跳	2.50	2.60	2.80	3.00	3.10	3.20	...
混成	1.25	1.30	1.35	1.40	...	1.65	以降3cm

【女子】 練習

走高跳	1.10	1.15	1.20	1.25	...	1.45	以降3cm
棒高跳	2.00	2.20	2.40	2.50	2.60	2.70	...
混成	1.00	1.05	1.10	1.15	...	1.35	以降3cm

・同記録における優勝・県大会出場を決める際のバーの上げ下げは、走高跳2cm 棒高跳5cmとする。

- ③ 三段跳の踏切板は、砂場から男子11m又は9m、女子8mの地点に設置する。ただし男子トップ8は11mで行う。
- (3) 競技の結果または競技実施に関する抗議は、規則第146条に基づき、正式に結果が発表されてから30分以内(その日に次のラウンドが行われる種目では15分以内)に当該競技者所属の顧問が、TICに申し出ること。
TICからの連絡により、審判長が説明を行う。この裁定に不服の場合は委託金(10,000円)を添え、TICを通じ上訴することができる。
- (4) 競技の結果については、掲示はしません。長野陸上競技協会HPに速報を随時掲載します。

5. 表彰について

- (1) 各種目3位までの入賞者に賞状を授与する。
- (2) 表彰式は行わない

6. 応急処置について

- (1) 大会期間中の事故については、本競技場医務室にて応急処置のみ行う。その後の処置については、各学校の引率者の責任において対処すること。

7. コロナウイルス感染症対策について

- (1) 大会2週間前から体調管理チェック表を記入し、大会当日、主催者に提出する。提出方法は、顧問の指示に従う。
- (2) 大会終了後、2週間は検温を行い、発熱などの症状があった場合は主催者に連絡する。
- (3) 競技会当日は検温を行い、体調不良・平素より高い体温が認められる場合は参加しない。
- (4) こまめに石けんと流水の手洗い、またはアルコール手指消毒剤を用いた手指消毒に努め、手を清潔に保つ。
- (5) 3密を避けることを徹底する。
- (6) ウォーミングアップは個別に行う。
- (7) レース後のうがい・手洗い・洗顔を徹底する。
- (8) 更衣室の滞在は短時間にする。
- (9) ウォーミングアップ中、競技中以外はマスクを着用する。マスクを外した状態での会話は避ける。(熱中症対策も行う)
- (10) 控え場所ではマスクを着用し密をさける。また、テントを使用する場合は、側面を開け風通しを良くして使用する。
- (11) ゴミは、必ず各自で持ち帰る。
- (12) 参加する学校のコーチ・保護者はチーム関係者として入場することができる。入場制限は特に設けないが、大会2週間からの健康管理チェックカードを提出し、入場許可リボンを手首に巻いていること。
- (13) 集団応援及び大声での応援はしない。
- (14) 競技会中、体調不良、特に発熱などの症状がある場合は、競技に参加せず帰宅する。

7. その他

- (1) スパイクピンの長さは、9mm以内とし、走高跳・やり投は12mm以内とする。
- (2) 1種目に同一高から4名以上参加する場合は、オープン参加とする。(ナンバーカードの前にopen)
- (3) 競技者の服装・身なり・態度は、高体連の体育参加者の心得に準ずるものとし、高校生らしい態度で臨むこと。